

児童福祉法改正を受けて ～児童の養護と貧困の問題を考える～

塩崎恭久厚生労働大臣をお迎えして、2016年5月に成立した「児童福祉法改正」を受けて、今後の日本における子供たちの問題を、当事者や行政はもとより、社会全体で受け止め理解と支援を皆様と共に考えていきたいと思います。今回の改正は、児童養護施設や乳児院に入所中の子供たちの問題だけではなく、今日本の子供達が6人に1人が貧困であるという現実を変えていくための重要な法改正です。ご参加・ご意見をお待ちしております。

記

日 時：2016年11月12日（土）13:00～17:30（開場 12:30）
場 所：日本財団 会議室（2F大会議室）東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル
TEL 03-6229-5111 代表番号

<http://www.nippon-foundation.or.jp/who/about/access/>（地図参照）

挨拶：主催者の挨拶

塩崎恭久厚生労働大臣（到着時に合わせてご挨拶頂きます）

基調講演：藻谷 浩介（日本総合研究所調査部主席研究員）これからの日本

リポート：今井久子（キッズドア）子どもを守る現場での行政とNPOの連携

森臨太郎（成育医療センター政策科学研究部長）育成環境

後藤絵里（朝日新聞記者）養子縁組海外実情

高橋恵里子（日本財団福祉特別事業チームリーダー）日本財団による特別養子縁組・里親推進の取り組み

藤井康弘（元厚生労働省・障害保健福祉部長）子ども政策の今後

李炯植（Learning for All 代表理事）子どもの貧困対策

宮城治男（NPO 法人 ETIC 代表）若者が社会課題に取り組む意義

猪飼周平（一橋大学教授）これからの児童福祉のあり方

学生の政策発表「未就学の子供の養育環境デザイン」優勝チーム 他

コーディネーター：西田 陽光（一般社団法人次世代社会研究機構代表理事）

司 会：田本 英輔（東京大学・GEIL2016 代表）

応援メッセージ：山本恵子（女性メディア勉強会）矢満田篤二（社会福祉士）
内閣府子どもの貧困対策担当参事官相川哲也及び関係者

参加費（キャンペーン協力費として）大人 2,000 円（学生無料）

主 催：一般社団法人次世代社会研究機構

共 催：geil2016・geil2017（学生政策コンテスト団体）

協 力：日本財団／NPO 法人 Learning for all／日本自治創造学会／
NPO 法人キッズドア／

問い合わせ：（一社）次世代社会研究機構 03・5226・3321（当日 090-2667-3827）

返信（参加申込）

F A X 0 3 - 5 2 2 6 - 3 3 2 2 e-mail yohkoh@lime.ocn.ne.jp

氏名

所属

連絡先

e-mail